

水処理用ハイブリッド凝集剤 AHS-TP



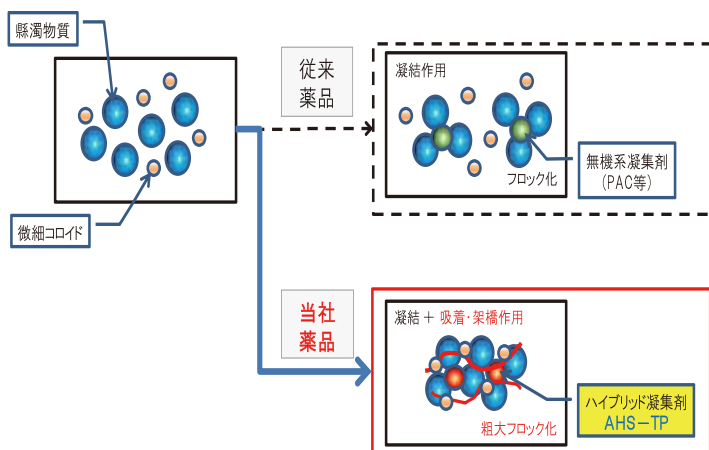
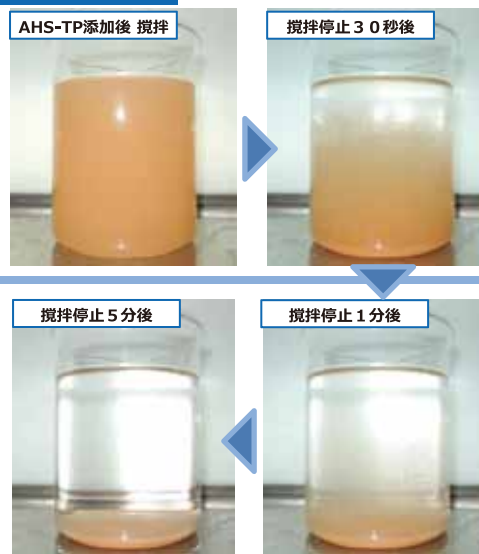
「凝結」と「架橋」のハイブリッド効果で 薬品使用量と汚泥発生量を低減します

水処理用 ハイブリッド凝集剤

AHS-TP

廃水処理設備のランニングコストの中で薬品代と汚泥処分費が一般的に多くの割合を占めていると言われております。ハイブリッド凝集剤**AHS-TP**は、無機系凝集剤の凝結作用による懸濁物質除去能力と有機系凝集剤の吸着・架橋作用による微細コロイドの除去能力双方の特性とメリットを併せ持ち、大きく強固なフロックを形成するため薬品使用量と汚泥発生量の削減効果が期待できる高機能水処理薬剤です。

AHS-TP 反応状況例



特 徴

① ハイブリッド凝集剤による薬品使用量の低減

一般的な無機系凝集剤と比べ分子量が大きく、凝集作用に加え吸着・架橋作用を有します。そのため、無機系凝集剤での処理と比べ、少ない薬品量で同等以上の効果が得られ、薬品使用量の低減が可能です。

② 薬品使用量削減による汚泥発生量の減少

薬品使用量を削減することで、汚泥発生量も減少。汚泥（産業廃棄物）の処分コスト削減が可能です。

<削減効果（参考値）>

薬品使用量、汚泥発生量共に 約 10% 以上の削減効果

※当社実績値であり、除害対象物質を含む廃水性状、実設備の稼働状況により変動します。

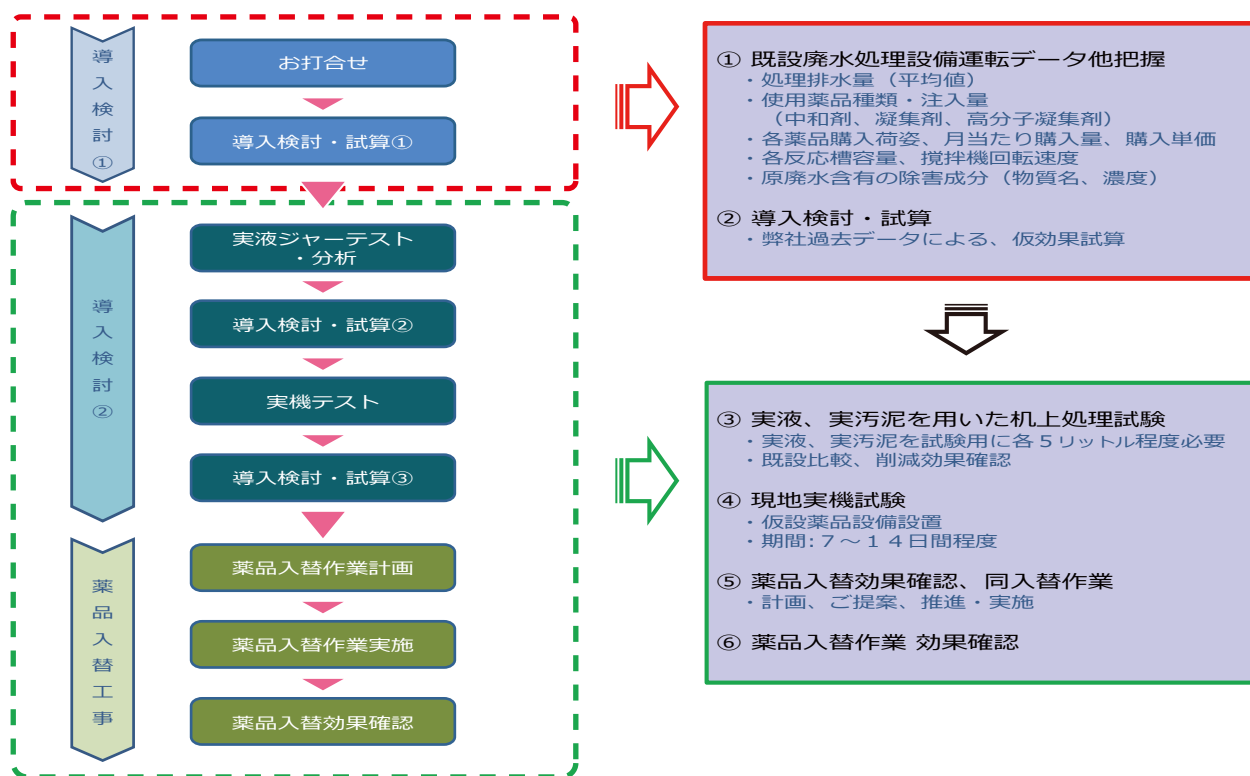
AHS-TP 外観



従来方式との比較

概略フロー	従来方式-1(無機系凝集剤)	従来方式-2(有機系凝集剤追加)	ハイブリッド凝集剤 AHS-TP使用
項目			
使用薬品数	酸アルカリ+無機+ポリマー=3	+1 (左記+有機系=4)	±0 (無機⇒AHS-TP入替)3
設備改修	—	必要(有機系設備追加要)	無し(既設流用)
薬品使用量	—	データなし	減少(▲10%以上)
汚泥発生量	—	データなし	減少(▲10%以上)

導入フロー



水・環境に関するお悩みごと、ご相談をぜひお聞かせください。

●取り扱いに関する注意

本カタログの内容は、当社の試験、調査に基づいた実績であり、効果を保証するものではありません。効果は対象となる廃水性状及び、廃水処理設備の仕様並びに運転諸条件により異なります。

ご使用に際しましては、お客様自身で目的に適合するか否かの事前確認をお願いいたします。既設廃水処理システムへ、ハイブリッド凝集剤AHS-TPを使用した際の削減効果(薬品使用量、汚泥発生量など)及び、品質向上(処理能力、処理水質など)に対し、当社はいかなる保証をなすものではありません。

また、より詳しい使用方法や注意事項、および安全性などを安全データシート(SDS)にて事前にご確認ください。

パナソニック環境エンジニアリング株式会社

本社 〒564-0062
大阪府吹田市垂水町3丁目28番33号
TEL:06-6338-1852

東日本支店 〒108-0075
東京都港区港南2丁目12番26号
港南パークビル3階
TEL:03-3472-2478

中日本支店 〒450-8611
愛知県名古屋市中村区名駅南2丁目7番55号
パナソニック名古屋中村ビル北館5階
TEL:052-589-8780

西日本支店 〒564-0062
大阪府吹田市垂水町3丁目28番33号
TEL:06-6338-1852

